

###free1###

###name### 様

■MSDN セミナー第8回 理念経営のすすめ方・アマゾン版

8/16(木) 16:00~18:00 中小企業マスターズクラブ・研修室 1,000円

詳しくは URL : [http://www.keiei-tokkunshi.jp/data/mls723/pdf\\_1\\_134.pdf](http://www.keiei-tokkunshi.jp/data/mls723/pdf_1_134.pdf)

=====

金融機関による事業性評価の現状

6回シリーズ 第4回 事業性評価制度について(その2)

著者:(株) I & C・HosBizセンター

品質、環境ISO、プライバシーマーク認証取得支援、IT活用支援

石川 昌平

=====

平成26年(2014年)9月に金融庁が発表した「**金融モニタリング基本方針**」の中で従来の融資方針を「**事業性評価**」という指針に変更するように求めた。

事業性評価の内容を具体化したのが、「**ローカルベンチマーク**」(通称:ロカベン)である。経済産業省と金融庁が連携して作成した。資料として以下の2点がある。

2016年に初版が発表され、毎年改訂され、最新版は2018年である。

①ローカルベンチマーク「参考ツール」利用マニュアル:②ツールの利用方法説明、PDF

②ローカルベンチマークツール:データ入力、結果表示、基準指標で構成。エクセル

=====

第4回 事業性評価制度について(その2)

(5) ロカベン(ローカルベンチマークの通称)における事業性評価(1):財務情報の評価(定量評価)

1) 評価対象の財務指標は6個

従来から融資評価方法として、決算書から得られる多くの「**財務情報**」があるが、ロカベンでは、企業の成長性や持続性等を把握し、対話を行うためのきっかけとなる「**ベンチマーク**」として特に有効な指標に絞り込んだ。この際、指標の有効性に加え、データの制約やなるべく簡潔なツールを目指すという点も考慮した。

選ばれた指標を貫く考え方は、企業の成長性や持続性を評価する上で、事業価値、すなわち事業から生み出されるキャッシュフローを把握することがその根幹にある。具体的には、「フロー」に関する指標から①売上持続性、②収益性、③生産性、④健全性、⑤効率性、に関する5つの指標を抽出した。また、企業の現状の体力を評価する観点から、⑥安全性に関する「ストック」指標も加えて、合計6つの指標となった。

◆ロカベンは金融機関が「貸し出しが安全かどうか」を評価することが目的であるので注意する。

・フロー分析（5個）

①売上高増加率…**売上持続性**（ $= (\text{売上高} \div \text{前年度売上高}) - 1$ ）

◆指標の意義と論点

- ・キャッシュフローの源泉。
- ・企業の成長ステージの判断に有用な指標。

②営業利益率…**収益性**（ $= \text{営業利益} \div \text{売上高}$ ）

◆指標の意義と論点

- ・事業性を評価するための、収益性分析の最も基本的な指標。本業の収益性を測る重要指標。

③労働生産性…**生産性**（ $= \text{営業利益} \div \text{従業員数}$ ）

◆指標の意義と論点

- ・成長力、競争力等を評価する指標。キャッシュフローを生み出す収益性の背景となる要因として考えることもできる。
- ・地域企業の雇用貢献度や「多様な働き方」を考えれば、本来、「従業員の単位労働時間あたり」の付加価値額等で計測すべき指標。  
「付加価値額」に代わり「営業利益」としたのは、おそらく販売管理費の売上に占める割合が、大きくなりその影響を考慮したためであろう。

④EBITDA 有利子負債倍率…**健全性**（ $= (\text{借入金} - \text{現預金}) \div (\text{営業利益} + \text{減価償却費})$ ）

◆指標の意義と論点

- ・有利子負債がキャッシュフローの何倍かを示す指標であり、有利子負債の返済能力を図る指標の一つ。

⑤営業運転資本回転期間…**効率性**（ $= (\text{売上債権} + \text{棚卸資産} - \text{買入債務}) \div \text{月間売上高}$ ）

◆指標の意義と論点

- ・過去の値と比較することで、売上増減と比べた運転資本の増減を計測し、回収や

支払等の取引条件の変化による必要運転資金の増減を把握するための指標。

• **ストック分析（1個）**

⑥自己資本比率…**安全性**（＝純資産÷総資産）

◆指標の意義と論点

- 総資産のうち、返済義務のない自己資本が占める比率を示す指標であり、安全性分析の最も基本的な指標の一つ。自己資本の増加はキャッシュフローの改善につながる。

2) 評価の方法

- 過去3ヶ年の6個の財務指標数値を「**業界基準値**」と比較して、点数化し合計する。  
（これを総合評価点とする）

注)「**業界基準値**」とは、企業規模（小規模、中規模）と業種（27種類）の中央値と標準偏差値から算出した4区分に5, 4, 3, 2の点数を割り当てたもの。

- 6個の指標の総合評価点を以下のようにランク分けする。

A：24点以上、B：18点以上24点未満、C：12点以上18点未満、d：12点未満

金融機関から融資を受けたい中小企業の経営者は、自社の財務指標分析を行って、自己診断してみることをお勧めする。総合評価点が、A, Bであれば、財務上優良企業であると言える。

次回から、2回にわたりローカルベンチマークにおける事業性評価（2）：非財務情報の評価（定性評価）について解説します。

=====

一般社団法人 経営特訓士協会（略称：KTGA）

URL <http://keiei-tokkunshi.jp/?mail>

アドレス：[happy@keiei-tokkunshi.jp](mailto:happy@keiei-tokkunshi.jp)

発行責任者： 理事長 平本 靖夫、 編集長：鈴木 香織

配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

[http://1lejend.com/stepmail/dela.php?no=xxxxxx&a\\_mail=###mail###](http://1lejend.com/stepmail/dela.php?no=xxxxxx&a_mail=###mail###)